

北九州市立北方保育所 指定管理者検討会 会議録

- 1 開催日時 令7年10月3日（金） 13:00～14:20
- 2 場 所 北九州市役所本庁舎11階 112会議室
- 3 出席者 検討会構成員：阿南構成員、大久保構成員、河崎構成員、
小竹構成員 （五十音順）
事務局：子ども家庭局運営給付担当課長、給付担当係長、
担当職員
- 4 応募団体 社会福祉法人 北九州市保育事業協会

5 会議内容

○検討会の位置づけ及び選定基準、採点の注意事項について、事務局より説明

○構成員の互選により、座長を選出

○応募団体より提案概要の説明及び応募団体へのヒアリング

■構成員によるヒアリング

（構成員） 園内研修、OJTについてお聞きしたい。どんな研修をされていて、どのような効果があるのかなど。

（応募団体） 以前は保育所の終業後に行っていたが、コロナ禍を契機に働き方を見直し、園内研修は極力昼間の時間帯に行うようにした。AEDなど大事な研修は、行事の後に行うなど工夫している。全員集まるのが難しい場合は、研修資料を回覧して、隙間時間に読んでもらうなどしている。また、各園から中堅保育士が集まって「人権」をテーマに法人内研修を行った。

（構成員） 保育士は離職率が高いと聞く。保育士の定着の取組について聞きたい。

（応募団体） 園長自らが先頭に立ち、保育士を盛り上げて、楽しい職場づくりに努めている。おかげさまで北方保育所の離職率は低く、ほとんど退職者が出ていない。

（構成員） 保育士の人材の確保について、採用の方法と人材確保の工夫についてお尋ねしたい。

（応募団体） 保育士は、園ごとではなく法人本部で計画的に採用しているが、なかなか欠員を埋められない状況である。LINEを使った情報発信、私立保育連盟の主催する保育フェアへのブース出展、保育士養

成校とのパイプ作り、保育実習生の受け入れなどを通じて、採用活動を行っている。

(構成員) 光熱水費をはじめとした諸経費について、経費削減の観点からなにか独自の取組があれば教えてほしい。

(応募団体) 無駄な電気代を削減するために、昼間の玄関など、電灯のスイッチはこまめに消すようにしている。職員の負担も考慮して夏場のプール、水遊びの回数を見直し、効率的に実施するようにした。結果として水道代の節減となっていると思う。

(構成員) 障害児保育、一時保育、延長保育についてどのように考えているか。

(応募団体) 発達の気になる子やグレーゾーンのお子さんについては、ケース会議を開くなどして、その都度、対応している。延長保育については、保護者の就労状況を踏まえ断らずに対応している。一時保育については、利用希望があれば、日々代替保育士を1名入れ、対応できる範囲で受け入れている。

○構成員は、応募団体からの提案概要のプレゼンテーション及び質疑応答を受けて各自得点を記入し、事務局が集計した得点を発表。その後、意見交換及び検討会としての検討結果（総合的な所見）について協議を行い、検討会を終了した。

■総合的な所見内容

- ・法人としては、十分な保育所運営の実績を有しており、財政基盤がしっかりしていると評価できる。
- ・6つの保育所を運営している法人のスケールメリットを活かし、園を超えた保育士間の交流や合同研修などが行われ、資質向上を図っている。
- ・長年にわたる保育所運営の経験を活かして、子どもや保護者に寄り添った保育が行われている。
- ・ICTの導入や保育士の事務作業の軽減を図り、育児・介護しやすい環境づくりに取り組んでいる。
- ・地域の小学校と「架け橋期のカリキュラム」を作成し、具体的な連携の取組が進んでおり評価できる。